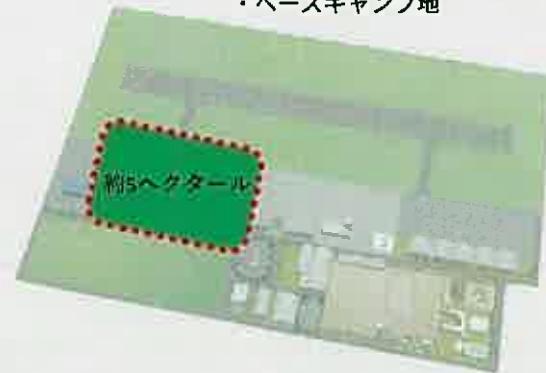


第1期：広域防災拠点

- 場内切盛工事で広場を整備し、建物を建造せず、移動可能な施設等の利用により防災機能を確保

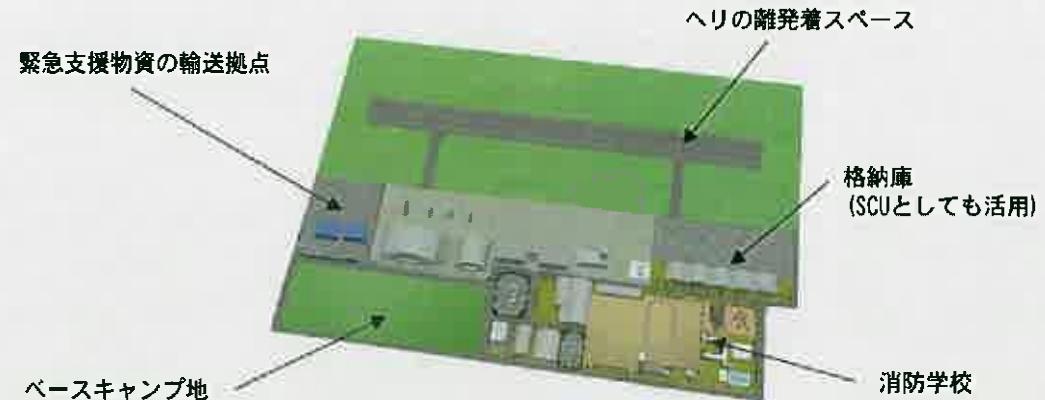
【想定される利用方法】

- ・仮設ヘリ離発着場
- ・コンテナ、テント等による備蓄倉庫
- ・ベースキャンプ地
- 等



第2期：600m滑走路を有する大規模広域防災拠点

- 第1期整備から造成範囲を拡大し、防災機能を充実



第3期：2000m級滑走路を有する大規模広域防災拠点

- 第2期整備からさらに造成範囲を拡大して2000m級滑走路を整備

